

東京内職センター

(東京)

主婦の「働きたい」に応える内職業の革命児 多彩な商品知識で新規クライアント開拓

家

庭に入ってから働きたい——。株式会社東京内職センターは、多くの主婦の「働きたい」をサポートし、手作業を中心とする丁寧で的確な内職業務でクライアントの「困った」を解決している。

「潜在的な女性のパワーをいかに活用するかを常に考え、使命感を持っています。仕事は『好き』が大事です」と語る佐藤洋一社長は独立前、紙の商社から広告会社に転職し、グラフィックデザインの仕事に従事。インターネットの普及によつ



佐藤 洋一 社長

てビジネスのペーパーレス化が進む中で紙媒体の将来性に疑問を抱き、「天職は何か」を考える日々が続いた。そして、イベント業務を通じてノベルティーの梱包作業など最終工程が杜撰に行われることが多い現状に触れ、着目したのが内職だ。

「当時、インターネットが隆盛していなければ今の自分 は成り立っていないと思います。印刷やデザインなど、それまでの全ての経験が生きる仕事の内職だと直感しました」(佐藤社長)

ホームページ上でリンク作業の動画説明を行うなど、同社はインターネットを有効活用して新規クライアントを開拓。その社数は常に全体の3〜4割を占め、幅広いジャンルの商品を詳しく知っている。強

みが高く評価されている。「コストの過当競争に巻き込まれず、付加価値の高い良い仕事をするためには、どの業界でも特定一社に依存しないことが重要です」と話す佐藤社長。約300人の内職メンバーの人的管理を重視し、ユニークな取り組みを行っている。その一つが4月に始まった抽選会だ。内職メンバーが処理する1000枚近い伝票の番号から、毎月抽選で約30名に豪華商品を贈呈。一枚の伝票が「宝くじ」となつて、抽選会の様子はYouTubeで公開される。

「面接や教育、契約、給与など内職スタッフの管理とサポートを徹底し、全てオープンにしています。技術的な約束事は必ずマニュアル化し、現場の社員には内

職スタッフに『あなたが必要だ』という積極的な声を言うように促しています」(佐藤社長)

高いモチベーションを維持しながら安心して仕事を楽しめる職場に、同業他社から移ってくる主婦も多い。

「佐藤イズム」で雇用創出 「第二の故郷」に恩返しを

佐藤社長は内職業界を1つの森に例え、こう話す。

「上場企業は大木、その下にしっかりと根を張る中小企業、草のように地場で奮闘する町工場、そして私は苔。養分をたっぷり蓄えた苔として『佐藤イズム』を広げ、根ざし、日本を成長させたಿದೆすね。昔から未来にかけて不変である内職業の

中身を変え、時代の変革に合った経営を目指します」また、「お客様はもちろん、従業員にも常に感謝の気持ちを持って会社共々成長したい」と願う。袖ヶ浦をはじめ、事業所・営業所を構える「第二の故郷」千葉県雇用創出に貢献し、恩返ししたいと考えている。(谷)

【会社データ】
本社 東京都品川区東品川 2-6-28
☎ 03-5783-0732
創業 2003年1月
従業員数 300名
事業内容 内職・パッケージ作業、倉庫管理、宅配・配送
<http://www.tokyo7149.com>

内職

手作業を要する多岐に亘る仕事。社員の指導のもと、多数の内職スタッフが丁寧な作業を行う

倉庫

商品の預かりはもちろん、荷物の保管、ピッキング、発送などを様々なニーズに対応

場内作業

検品作業が中心。大きな商品やスピードが求められる仕事に対応し、チームで役割分担して作業を行う

印刷

DMの封入セットに合わせてデザイン、印刷などをまとめて任せられる

同社のサービスカテゴリー